

## 授業評価報告：「スポーツ・ダンスキャリアデザイン論」

### (H25 後期授業) 受講生のキャリア形成に関する意識～将来像と進路～

教育学部 保健体育講座 牛山眞貴子

#### 1 はじめに

本授業は、スポーツ健康科学課程 1 年生必修の授業である。

この課程では 1 年次終了後指導者へのキャリアを積むスポーツ指導者養成コースと学生がこれまで培ってきたキャリアと潜在する能力を開発し、社会で活躍できる人財を育成するスポーツキャリア開発コースに、学生の進路選択によって分かれる。本授業の中でコース選択を学生が行うため、選択を支援できることが期待されている。

今回の授業報告では受講生 22 名に調査を行い、特に授業内容で取りあげている①ライフワークバランス②職種の幅の広がり③将来へのキャリア形成への意欲向上を軸に、授業の取組のクオリティと学生の理解および満足度を検討する。またこの時点で進路に関わるコース選択を行うため、今回はそこから見えてくる進路の迷いの現状を報告する。

#### 2 受講生の構成

スポーツ健康科学課程 1 年生 22 人

#### 3 授業題目、目的・到達目標

##### ○授業題目

キャリアをデザインする-スポーツやダンスのキャリアをどう活かすか

##### ○ 授業の目的

現代社会において学生は将来にむけての発展的なキャリア教育の必要性を期待している。

1) スポーツやダンスのキャリアをどう活かすかについて、自己記録・話題提供・事例提供を参考に考察を行う。

2) 職業観を広げ、スポーツ・ダンスそれぞれの特性を明確にしていきながら、自己の適性と照合し、現段階の「未来図」を推論し作成する。

3) 大学の学びの中で、さらにキャリアを開発し、キャリアアップしていくための動機付け、今後の課題を考え、認識する。

##### ○ディプロマ・ポリシー (卒業次の到達目標)

現代社会で生じている健康やスポーツに関するさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。(思考・判断)

多世代にわたる対人関係能力およびコミュニケーション能力を獲得し、豊かな地域社会づくりに貢献するための適切な行動ができる。(態度)

##### ○到達目標

###### ①知識・思考

自己のスポーツやダンスのキャリアを小学校から今日まで列記し、系統立てて述べるができる。これまでのスポーツ/ダンスの種目特性と照合しながら、キャリアを自己分析することができる。

###### ②技能・表現

話題提供者・事例提供者の話に耳を傾け、質問項目を作成し、尋ねることができる。

キャリア開発やキャリアアップのためにこれから自分が何をしなければならないかを整理し、述べる・書くことができる。

###### ③意欲・関心

グループワーク・ディスカッションの中で、自己の役割を踏まえて、話し合いに対応することができる。グループワーク・ディスカッションの中で、構成員と協力し合い、課題を遂行し、まとめることに貢献できる。

ディプロマ・ポリシーと到達目標は、D-1と知識・思考が対応し、D-2と技能・表現、意欲・関心が対応しており、リンクしている。

#### 4 授業内容

**概要** (提示したシラバスからゲストの都合によって若干の順序の変更があった)

1) 学ぶから働く 10.3

授業を受けるマナー、心構え

キャリア・ビジョンとデザインの必要性

2) 自己のキャリアから見えてくる様々な未来図①  
今何をすればよいか、国語テスト10.10

3) 29歳の自分への手紙、国語テスト

## 10.17

- 4) 自己のキャリアから見えてくる様々な未来図②  
公共性、リーダーシップ、アシスト、段取り力  
ボランティアイズム他、直感力テスト/国語テ  
スト10.24
- 5) 自己のキャリアから見えてくる様々な未来図③  
どのような人物を、働く場としての社会（企業  
/学校他）は求めているか。10.31  
社会基礎力に含まれる、専門性以外の学力とは  
なにか。面接の重要性 直感力/国語テスト
- 6) 社会人基礎力を身につける。11.7  
伝えると伝わるの違い  
バーバルコミュニケーション編
- 7) 休講、課題を出すので、8回目に提出11.14
- 8) 社会人基礎力をつける。11.21  
論理力/社会常識テスト  
パブリック・スピーキング理論と実践/  
スピーチトレーニング
- 9) 社会人基礎力をつける。11.28  
パブリック・スピーキング理論と実践/  
スピーチトレーニング
- 10) 就職とは？スポーツキャリアと職業選択① 12.5  
(今年の先輩で内定者ゲストから話題提供) →  
レポート提出
- 11) 就職とは？スポーツキャリアと職業選択②12.12  
(今年の先輩で内定者ゲストから話題提供) →  
レポート提出
- 12) 就職とは？スポーツキャリアと職業選択③  
12.19  
(今年の先輩で内定者ゲストから話題提供) →  
レポート提出
- 13) スポーツキャリアとの仕事 1.9→ゲストスピー  
カー教育学生支援機構 林真輝氏
- 14) スポーツキャリアと仕事 1.16→ゲストスピー  
カー教育学生支援機構 山中亮氏
- 15) コース分けガイダンス 1.23
- 16)最終コース決定締め切り 1.30  
学生の希望により2.3まで延長  
希望者には個別相談に応じる。

## 5 授業アンケートからの授業評価

15 回目のまとめの授業で希望するコースを用紙  
に記入後、受講生にアンケートを行った。全員出席  
で回答数 22 名、回収率 100%

### A 質問項目と回答数

次の質問に回答ください。該当するものに○をつけ  
てください。

- 1) 希望するコースと進路について

(6名) まだ、コースに迷いがある。

この回答者は、進路にむけてのコース選択について

カウンセリングを必要としている。

- 2) 1年後期スポーツ・ダンスキャリアデザイン論  
の最終授業後にコース説明後、コース分けについて  
(22名) これでいいと思う

(0) 1年前期の方が良い→もっと早く決めたい

(0) コース説明は必要ない

- 3) スポーツ・ダンスキャリアデザイン論の授業で  
①ライフワークバランス ②職種の幅の広がり ③  
将来のために何をすべきか ①から③について自分  
の中で意識できるようになりましたか。

充分意識できるようになった◎

概ね意識できるようになった○

まだ意識できていない△ を記入してくださ  
い。

ライフ→◎13名○9名△0

職種→◎11名○10名△1名

将来→◎9名○9名△4名

\* その他、不安に感じていることや質問などあつ  
たら遠慮なく書いてください。

・ 進路変更を含め相談したい (1名)

・ 就活、将来等迷いと悩みがあり (2名)

### 各項目の回答からの結果

以上の結果より、受講生について

① コース選択にまだ迷いのある学生はいるためカ  
ウンセリングが必要である

② 進路については、これからの課題として捉えて  
いる学生が多い。

③ 職種や将来についてまでは、まだクリアなイメ  
ージを持つまでには至っていない。

以上のことが示唆された。

今後も継続して指導を行い、キャリア形成につ  
いて意識化し、将来をデザインすることをアド  
バイスしていく必要があるだろう。

### <まとめ>

学生のアンケート評価と感想から授業内容に対して  
積極的に関わろうとする姿勢、キャリア形成への気  
づきから意識の高まり、行動への意識付けが現れて  
いた。進路にまだ迷いや不安はある。ディプロマ・  
ポリシーと到達目標はD-1と知識・思考が対応し、D-2  
と技能・表現、意欲・関心が対応しており、ほぼリ  
ンクし合っていたことが伺えた。